

事務事業分析シート（平成21年度）

No1

事務事業名	まちの環境美化推進事業	部課名	環境清掃部環境課	課長名	松戸 民雄
		担当者名	大島淳一	内線	483
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（21年度）	まちの環境美化推進費（28-01-03-03）				
事務事業の種類	新規事業（21年度 20年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	9年度	根拠	荒川区まちの環境美化条例・同規則	
終期設定	有 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内 都基準内 区独自基準		計画区分	計画	非計画
行政評価事業体系	分野	環境先進都市[]			
	政策	良好で快適な生活環境の形成[08]			
	施策	緑とるおい豊かな生活環境づくり[08-01]			
目的	「荒川区まちの環境美化条例」に基づき、区・区民・事業者および団体が相互に協力し合い、「わがまちはわが手で美しくする」ことを目標に、環境美化活動を実践し、清潔で美しい荒川区をつくり、区民の生活環境の向上を図ることを目的とする。				
対象者等	区民・事業者及び団体等				
内容	<p>地域の美化活動支援：区民が主体的に行う美化活動に対し、職員の派遣・清掃用具の貸与等を支援 モデル地域の指定：まちの美化の推進が特に必要な地域を「環境美化推進モデル地域」として指定し、活動を支援</p> <p>区役所周辺の美化活動：区職員による区役所周辺の美化活動を実施（年間7回） 荒川区環境美化の日(5月30日)：関係団体との協力を得て、一斉清掃活動を実施 区内主要駅周辺でのキャンペーン活動：まちの環境美化についての普及・啓発活動及び美化活動の実施 環境美化大賞：美化活動等の功績が顕著な個人・団体を表彰 （平21から土木部公園緑地課で緑化関係の顕彰制度を設けることから、荒川区環境美化大賞から緑化部門を分離し、清掃活動に対象を絞る。）</p> <p>歩きタバコの禁止：路面表示ステッカーによる啓発、駅前の歩行喫煙実態調査の実施、ポイ捨て・歩きタバコ禁止看板の設置 ポスター・懸垂幕等による周知（自転車乗車中の喫煙も禁止） 主要駅周辺路上喫煙禁止：南千住・町屋・日暮里・西日暮里・三河島・新三河島駅周辺において、指定地域内の路上喫煙を啓発指導員のパトロールのもと禁止を指導 ポスター・チラシ・懸垂幕等による周知 *美化の推進を重点的に実施するため、条例で定めた荒川区環境美化の日(5月30日)の前後に、環境美化推進期間(5月15日～6月14日)を設け、美化推進ポスターの掲示・キャンペーン等を実施</p>				
経過	平成8年10月「荒川区まちの環境美化条例」制定、平成9年4月同条例施行、平成9年4月から普及・啓発活動・活動支援を実施している。平成20年12月に条例を一部改正し、平成21年6月改正条例を施行した。「環境美化推進モデル地域」の指定：平成15年3月町屋地域、平成15年9月日暮里地域、平成16年6月藍染川通り地域、平成17年2月南千住東部地域、平成17年5月原町会地域、（現在5地域で指定済み）				
必要性	荒川区まちの環境美化条例に基づき、「わがまちはわが手で美しくする」ことを目標として清潔で美しい荒川区をつくり維持していくためには、環境美化活動の普及・啓発・活動支援を実施する必要がある。				
実施方法	（2一部委託）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 主要駅周辺の指定地域における路上喫煙禁止を啓発指導するため、平日の朝2時間と夕方2時間についてシルバー人材センターに業務委託をして実施している。その他のたばこ等のポイ捨て禁止及び歩きたばこ禁止等の啓発行為は環境課が直営で実施している。				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	
予算額	1,416	1,792	4,471	2,971	2,651	2,906	13,727	
決算額（21年度は見込み）	1,360	1,629	1,982	1,468	1,564	1,901	13,727	
人件費			10,343	7,686		10,107		
【事務分担量】（%）			120	90		130		
合計（+）	1,360	1,629	12,325	9,154	1,564	12,008	13,727	
国（特定財源）								
都（特定財源）							6,102	
その他（特定財源）								
一般財源	1,360	1,629	12,325	9,154	1,564	1,901		
実績の推移	事項名	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
	美化大賞受賞者数（個人）	9	11	12	15	16	15	
	美化大賞受賞者数（団体）	3	3	3	8	8	12	

事務事業分析シート（平成21年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成19年度（決算）		平成20年度（決算）		平成21年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	食糧費	環境美化大賞	49	環境美化大賞	59	環境美化大賞	79
	一般需要	歩きたばこ対策	909	歩きたばこ対策	946	歩きたばこ対策	3,959
	役務費	ポスター広告掲載料	180	ポスター広告掲載料	203	ポスター広告掲載料	750
	委託料	美化掲示板保守委託	410	美化掲示板保守委託	670	美化掲示板保守委託	8,917
	使用料及び賃借料	環境美化大賞表彰式	17	環境美化大賞表彰式	22	環境美化大賞表彰式	22

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		18年度	19年度	20年度	21年度	目標値 (22年度)	
標	環境美化推進期間の参加者数	2,482	2,321	2,581	1,516	3,000	環境美化推進期間活動参加者数
	歩行の喫煙率（職員による調査）	1.95%	1.28%	1.22%	—	2.00%	歩行喫煙者数 ÷ 歩行者 × 100

（問題点・課題）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 条例の禁止事項に対する罰則規定の検討 ・ まちの美化に関する状況の検証 ・ 美化活動のネットワーク化、区民への普及・啓発 ・ 地域の町会、団体等の美化活動誘導 ・ 環境美化推進モデル地域の拡大 ・ 歩行喫煙禁止・自転車乗車中の喫煙行為禁止・駅周辺の路上喫煙禁止に向けた意識啓発の活動の充実 ・ 駅周辺での路上喫煙禁止のパトロール等の指導の徹底と地区内での指定喫煙場所の確保
他区の実況	<p style="text-align: center;">（実施 22 区 未実施 0 区）</p> <p>条例の制定 21区 未制定 1区（江戸川区）</p>

問題点・課題の改善策検討	
平成22年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
美化活動団体間の情報交換や連携を促進する。	各地域で別々に活動している美化活動団体の相互理解が深まり、活動のさらなる活性化が期待できる。
歩きたばこ禁止に向けて、区報等による周知や啓発指導員等の強化を図る。	歩きたばこ禁止の周知により、歩行喫煙率の低下が期待できる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	推進	区・区民・事業者及び団体が相互に協力し合い、清潔で美しい荒川区をつくる取組みは重要である。

況議 （要質 旨問 状）	<p>16年2定 「歩きたばこ防止」対策（罰則規定）について</p> <p>20年4定 「荒川区まちの環境美化条例」一部改正(12月17日交付)において罰則規定を設ける意見あり(3年後再検討することです承)</p>
-----------------------	---

事務事業分析シート（平成21年度）

No1

事務事業名	屋外広告物事務	部課名	土木部管理計画課	課長名	裸野和男
		担当者名	大熊朋子	内線	2715
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（21年度）	道路占用事務費（01-03-01）				
事務事業の種類	新規事業（21年度 20年度）		建設事業		それ以外の継続事業
開始年度	昭和	平成	24年度	根拠法令等	屋外広告物法、東京都屋外広告物条例、同施行規則、荒川区手数料条例
終期設定	有 無		年度		
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	環境先進都市[]			
	政策	良好で快適な生活環境の形成[08]			
	施策	緑とうるおい豊かな生活環境づくり[08-01]			
目的	屋外広告物の表示、場所、方法などを規制することにより、良好な景観の形成、美観の維持、通行者に対する危険を防止する。				
対象者等	屋外広告物掲出者				
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外広告物事務 「特別区における東京都の事務処理の特例に関する条例」に基づき区が処理する事務である。 ・広告塔や広告板、車体利用広告などの広告物については、区条例で定められた手数料を徴収する。 ・違反広告物除却協力員制度 区民ボランティアが違反広告物を撤去する。 ・日々の道路パトロールにより違反広告物への警告札の貼付及び簡易除却できるものの除却を行っている。 				
経過	<p>平成11年12月 特別区における東京都の事務処理の特例に関する条例制定（施行平成12年4月）</p> <p>平成12年3月 荒川区手数料条例制定</p> <p>平成16年4月 屋外広告物許可手数料改正</p> <p>平成17年12月 違反広告物除却協力員制度実施要綱制定。（平成21年4月1日現在の協力員数77名）</p> <p>平成20年12月 東京都屋外広告物条例施行規則の一部改正（看板等に貼付する標示シールおよび適用除外シール）</p> <p>～15年度予算額・決算額については、「道路占用事務」事業と「屋外広告物事務」事業との合算</p>				
必要性	良好な景観の形成、美観の維持、通行者に対する危険防止を図ることにより、住み良い町をつかって行くために必要である。				
実施方法	<p>（1直営）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）</p> <p>・違反広告物除却協力員は無償ボランティアで、はり紙だけを除却する。 （協力員証、腕章、ジャンパー、帽子等交付）</p>				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	
予算額		166	136	54	119	173	471	
決算額（21年度は見込み）		100	77	42	129	181	471	
人件費			13,248	11,883	11,953	11,887		
【事務分担量】（%）			260	240	240	240		
合計（+）	0	100	13,325	11,925	12,082	12,068	471	
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）		8,631	8,761	7,111	6,205	7,373	6,205	
一般財源	0	-8,531	4,564	4,814	5,877	4,695	-5,734	
実績の推移	事項名	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
	屋外広告物許可件数	164	222	218	196	192	217	220
	違反広告物除却協力員数 委嘱数(累計)			23	19(42)	5(47)	30(77)	13(90)
	違反広告物除却件数(協力員除却)			3,536	10,131	11,493	5,907	6,000

事務事業分析シート（平成21年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成19年度（決算）		平成20年度（決算）		平成21年度（予算）	
		主な事項		主な事項		主な事項	
		金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）		
	食糧費	協力員打合せ会	3	協力員打合せ会	4	協力員打合せ会	14
	一般需用	協力員用消耗品	102	協力員用消耗品	123	印刷製本、消耗品	399
	手数料	保険料	24	保険料	54	保険料	58

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		18年度	19年度	20年度	21年度	目標値 (22年度)	
指	協力員数	19(42)	5(47)	30(77)	13(90)	100	毎年10名程度増員していく。
標	違反広告物除却件数(はり紙)	26,956	30,424	29,019	30,000		毎年30,000件 そのうち、違反広告物除却協力員による除却数（H18年度10,131件・H19年度11,493件・H20年度5,907件）を含む

（問題点・課題分析）	<p>あふれる違反広告物（特に、張り紙・のぼり旗の増加）をどのようにして撤去していくか。除却協力員制度の拡大を図る。悪質な違反広告物表示者等に対する指導を強化する。</p>
他区の実況	（実施 13 区 未実施 9 区）

問題点・課題の改善策検討	
平成22年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
違反広告物について、区民への啓発を図る。また、道路監察車パトロールにより、違反広告物の撤去活動を継続して実施していく。	町の環境美化を図り、住み良い町を形成していく。
1. 違反広告物除却協力員のネットワークの拡大を図る。 2. 除却協力員を地域のリーダーとして位置づけ、協力員相互が組織的に活動できるような体制を整備する。	多くの区民が違反広告物除去協力員制度を理解し、積極的な参加協力を得られるようになる。
違反広告物表示者等に対し、過料の徴収や氏名等を公表する。	罰則を適用することにより、違反広告物表示者の減少につながる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
継続	継続	屋外広告物を規制することは、良好な景観の形成等に貢献する事業である。

況議（要旨）	<p>H18一定 違反広告物除却協力員制度の効果及び今後の展開について、また、違反広告物数の推移、罰則等についても合わせて質問があった。</p> <p>H18三定 電柱に違反な広告を掲示している業者に対し、区報等で氏名を公表すべきであるとの意見あり。</p>
--------	---

事務事業分析シート（平成21年度）

No1

事務事業名	みどりの条例関係事業	部課名	土木部公園緑地課	課長名	川原宏一
		担当者名	諸角 明彦	内線	2752
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（21年度）	みどりの関係条例費（01-03-01）				
事務事業の種類	新規事業（21年度 20年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和	平成	55年度	根拠	荒川区みどりの保護育成条例及び同条例施行規則
終期設定	有	無	年度	法令等	
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	環境先進都市[]			
	政策	良好で快適な生活環境の形成[08]			
	施策	緑とうるおい豊かな生活環境づくり[08-01]			
目的	花と緑の街づくりを推進するために、区民の緑化意識を啓発し、みどりへの関心を高めていくとともに、既存のみどりを保存する。				
対象者等	区民				
内容	<p>保護指定樹木等：区内に残る貴重なみどりを保全するため、一定の基準を満たす樹木、樹林、生垣について保護の指定を行い、維持管理に係る経費の一部を助成する。 原則、維持管理に要した費用の1/2 一戸限度額150,000円 生垣造成助成：生垣造成工事費及び生垣造成に係る塀等撤去費の1/2を助成する。 緑化指導：一定規模以上の開発行為等には緑化を義務付ける。 花と緑の推進モニター制度：モニターになった区民に、接道部における「緑のカーテン」や花壇づくりの実践と活動記録の報告してもらう。 募集人数：40名 *平成20年度から実施 （仮称）緑花大賞（新規）：緑花活動にかかわる人の関心を高め、活動を一層活発にしていけるため、区民や事業者が作り育てている花壇やその他の緑花を対象として表彰する。</p>				
経過	<p>【保護樹木】 平成10年度までは、所有者の申請に基づき区で剪定等を実施してきたが、平成11年度より所有者が維持管理に要した費用の一部を助成する方式に変更。 【生垣助成】 平成10年度から18年度までの間は、防災生活圏促進事業の一つとして東京都の補助金が活用できた。 【緑花大賞】 これまで、緑化活動については、荒川区環境美化大賞において清掃活動を行っている団体等と一括して表彰してきた。本年度より、緑化部門の顕彰を単独で実施し、区民の花と緑への愛着や関心を促していく。</p>				
必要性	「花と緑を通して幸せを実感できるまち」を実現するためには、既存のみどりを保存するとともに、緑被率の向上や公園面積の拡大を進める他、区民一人ひとりが花や緑にかかわる活動に参加する機会をつくることが重要となる。				
実施方法	（2一部委託） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 花と緑の推進モニター制度に係る業務委託 岩田造園土木株式会社 委託金額 ¥2,107,560-（上限総額）				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	
予算額	3,447	3,651	3,217	3,423	10,600	14,823	5,738	
決算額（21年度は見込み）	1,838	1,725	1,592	1,679	9,831	13,982	5,738	
人件費			6,033	5,124	6,832	16,517		
【事務分担量】（%）			70	60	80	195		
合計（+）	1,838	1,725	7,625	6,803	16,663	30,499	5,738	
国（特定財源）								
都（特定財源）	376	90	0	122	0	0	0	
その他（特定財源）								
一般財源	1,462	1,635	7,625	6,681	16,663	30,499	5,738	
実績の推移	事項名	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
	保護樹木（本）	191	189	185	210	209	215	
	保護樹林（㎡）	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	
	保護生垣（m）	134	134	134	114	185	185	
	保護樹木等助成(件)	7	14	15	7	15	15	

事務事業分析シート（平成21年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成19年度（決算）		平成20年度（決算）		平成21年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	食料費	区政改革懇談会	0	区政改革懇談会	0	花と緑のコンクール表彰式贈	53
一般需要費	樹名板・その他消耗品	463	樹名板・その他消耗品	826	樹名板・コンクール記念品	1,062	
役務費	樹木保険	53	樹木保険	55	コンクール筆耕・設営、樹木保険	121	
委託料	緑の実態調査委託	4,725	花と緑の推進モニター	2,449	花と緑の推進モニター	2,155	
	基本計画策定委託	2,590	基本計画策定委託	9,398			
使用料及び賃借料					コンクール会場使用料	11	
負担金補助及び交付金	生垣・保護樹木助成	2,001	生垣・保護樹木助成	2,024	生垣・保護樹木助成	2,335	

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		18年度	19年度	20年度	21年度	目標値 (22年度)	
標	保護指定樹木助成金交付状況(本)	188	224	248	248	-	平成11年度以降実績累計
	生垣造成延長(m)	295	338	372	372	-	平成11年度以降実績累計
	緑化指導実績(m ²)	16,746	8,102	7,461	2,489	-	各年度緑化計画面積

(問題点・課題)	<p>・平成21年3月に策定した「荒川区花と緑の基本計画」に基づき、みどりの街づくりを進めていくために、推進計画に掲げた施策を確実に事業化していく必要がある。</p> <p>・民有地の緑の保全是、大変厳しい状況にある。特に、保護樹木は、樹木の成長に伴う落葉や病虫害などが近隣に影響を与えており、隣接する住民からの苦情や所有者からの相談などが増えている。</p>
他区の実況	(実施 22 区 未実施 区)

問題点・課題の改善策検討	
平成22年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
花と緑の推進計画に掲げた施策や事業を確実に履行するために、断続的な点検と評価を行っていく。	花と緑の基本計画に定める方針や目標を実現することができる。
保護樹木等の緑の保全に関して、パンフレットや区報等によりPRや啓発を行う。	保護樹木等の緑の保全に対する理解や関心を高める。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	推進	既存の緑の保護や緑化の啓発など、区の緑化推進に貢献する事業である。

(状況)	<p>H16三定 緑化推進計画の策定の要望（一般質問）</p> <p>H17三定 屋上緑化の推進の要望（一般質問）</p> <p>H18二定 緑化推進計画の早期策定の要望（一般質問）</p> <p>H18二定 緑化推進計画が必要（一般質問）</p> <p>H21一定 都電軌道敷の芝生化推進（一般質問）</p>
------	---

事務事業分析シート（平成21年度）

No1

事務事業名	都電沿線バラ植栽事業	部課名	土木部公園緑地課	課長名	川原 宏一
		担当者名	茂手木 瑞紀	内線	2752
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（21年度）	都電沿線バラ植栽事業（01-04-01）				
事務事業の種類	新規事業	（ 21年度 20年度 ）	建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和	平成	60 年度	根拠	荒川区みどりの保護育成条例及び同条例施行規則
終期設定	有	無	年度	法令等	則都電荒川線及びその沿線の緑化に関する協定
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	環境先進都市[]			
	政策	良好で快適な生活環境の形成[08]			
	施策	緑とうるおい豊かな生活環境づくり[08-01]			
目的	荒川区のシンボルである都電荒川線の沿線をバラで包み込み、荒川区の中央を貫くみどりの軸をつくることにより、美しい景観の創出やうるおいと安らぎの提供を図る。また、区民にも都電沿線のバラへの愛着を深めてもらい、区民とともに区の観光資源として育てていく。				
対象者等	区民及び荒川区を訪れる人				
内容	整備	東京都交通局と協定を締結し、区内を走る都電の延長約4.8kmのうち約4.1km、両側にすると6.7kmの区間にバラを植栽。			
	維持管理	剪定、摘実、摘雷、消毒、施肥、灌水、マルチング等の維持管理作業を、直営を主体として行っている。除草、清掃及び一部の摘実は委託している。			
	区民の手による管理	「荒川バラの会」が、区との協定に基づき、三ノ輪橋電停周辺及び荒川遊園でバラの育成管理を行っている。区は、講習会(年6回)、道具類の支給・貸与、ボランティア保険の加入等の活動支援をしている。			
経過	昭和61年2月 東京都交通局と「都電荒川線及びその沿線の緑化に関する基本協定」を締結 昭和60年度～平成3年度 植栽工事の実施 平成14年度 区の観光資源として充実させるため再整備に着手。三ノ輪橋電停周辺と荒川遊園を整備 平成15年度 区民の手による管理を導入し、「荒川バラの会」発足。荒川二丁目電停付近を整備 平成17年度 区の都電沿線のバラによる観光まちづくりが「花の観光地づくり大賞」を受賞 平成21年5月 都電沿線のバラをPRするイベントとして「第1回あらかわバラの市」を開催				
必要性	都電沿線のバラは、区の中央を貫くみどりの軸として、みどりのネットワークを形成するうえで、重要な位置を占めている。また、近年は、「花の観光地づくり大賞」を受賞や、平成21年5月に町屋駅前「あらかわバラの市」を開催するなど、区の観光資源としての重要性が高まっている。				
実施方法	(二部委託) (直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員) 都電沿線バラの植栽地維持管理委託 株式会社アサノグリーン 委託金額 ¥5,285,046-				

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	
予算額	12,140	11,492	10,504	10,557	10,557	14,823	13,681	
決算額(21年度は見込み)	11,844	10,764	8,766	9,652	9,652	14,372	13,681	
人件費			20,365	16,421	16,421	14,624		
【事務分担当量】(%)			235	203	203	194		
合計(+)	11,844	10,764	29,131	26,073	26,073	28,996	13,681	
国(特定財源)								
都(特定財源)								
その他(特定財源)								
一般財源	11,844	10,764	29,131	26,073	26,073	28,996	13,681	
実績の推移								
	事項名	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
	植栽(株)	500	500	400	200	200	200	200

事務事業分析シート（平成21年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成19年度（決算）		平成20年度（決算）		平成21年度（予算）	
		主な事項		主な事項		主な事項	
		金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）		
	報償費	バラ園芸講習会謝礼	156	バラ園芸講習会謝礼	156	バラ園芸講習会謝礼	156
	食料費						
	一般需要費	維持管理用消耗品	1,445	維持管理用消耗品	1,352	維持管理用消耗品	1,997
	役務費	塵芥処理・運搬等	204	塵芥処理・運搬等	234	塵芥処理・運搬等	237
	委託料	除草・清掃委託	4,863	除草・清掃委託	5,245	除草・清掃委託	5,286
	使用料及び賃借料	バラ園見学会高速道路料	3	バラ園見学会高速道	3	バラ園見学会高速道	3
	工事請負費	都電通りバラ植栽工事	2,982	都電通りバラ植栽工事	7,382	都電通りバラ植栽工事	3,554

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		18年度	19年度	20年度	21年度	目標値 (22年度)	
標	株数(株)	約12,600	約12,800	約13,000	約13,200	13,400	年200株植栽 （「荒川区花と緑の推進計画」より）
	「荒川バラの会」会員数	46名	47名	42名	43名	70名	

（問題点・課題）	<ul style="list-style-type: none"> ・都電沿線のバラの魅力をもっと高めていくために、植栽地の拡大を図る必要がある。 ・区の観光資源としてのレベルを保持していくためには、維持管理をさらに充実させる必要があるが、維持管理を担う直営の人員は減っており、適正に管理していくのが困難な状況になっている。 ・都電沿線のバラを区の観光資源として区民とともに育てていくためには、区民の関心を高めるとともに、担い手である「荒川バラの会」を充実していく必要がある。
他区の実況	（ 実施 区 未実施 22 区 ）

問題点・課題の改善策検討	
平成22年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
<ul style="list-style-type: none"> ・補助90号線の植樹帯を活用するなど、バラの植栽地の拡大を検討する。 ・新設する宮前公園について、バラをテーマとした公園として整備するなど、都電沿線のバラに広がりを持たせていく。 	都電とその沿線のバラの広がりにより、さらに荒川区をPRすることができる。
維持管理業務の委託化を拡大する。	維持管理作業を計画的に行うことができ、バラの良好な育成と美観の向上が期待できる。
一般向けのバラの講習会の内容を充実させる。	バラに対する区民の関心が高まり、荒川バラの会の会員増が期待できる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
重点的に推進	推進	区民の満足度も高く、観光の視点からも重要な事業である。

（状況）	<ul style="list-style-type: none"> H14二定 一般質問でバラの補植を要望 H14三定 一般質問で観光資源としてPRを要望 H18一定 一般質問でバラ植栽の推進を要望
------	---

事務事業分析シート（平成21年度）

No1

事務事業名	あらかわバラの市	部課名	土木部公園緑地課	課長名	川原宏一
		担当者名	茂手木瑞紀	内線	2752
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（21年度）	都電沿線バラ植栽事業（01-04-01）				
事務事業の種類	新規事業	（ 21年度 20年度 ）	建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和	平成	21 年度	根拠	
終期設定	有	無	年度	法令等	
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	環境先進都市[]			
	政策	良好で快適な生活環境の形成[08]			
	施策	緑とうるおい豊かな生活環境づくり[08-01]			
目的	町屋駅前においてバラの即売会等を開催し、花と緑によるまちづくりの足がかりとするとともに、都電沿線のバラとの連携により、区のイメージアップにつながる新たな観光資源とする。				
対象者等	区民及びバラの市を訪れる人				
内容	バラの花鉢の販売（2,000鉢） バラ講習会・バラの相談コーナー設置（講師） 「荒川バラの会」特設ブース設置 ・会員による、バラの育成方法や会の活動状況の説明 都電沿線のバラPRコーナー設置				
経過	平成19年度 区長と区民が語り合う「ふれあいティーパーティー」において、荒川バラの会の会員から、バラを販売するイベントの実施について提案があった。 平成20年度 事業の効果や必要性について検討し、バラの市の開催を決めた。 平成21年度 5月23（土）10時 記念式典を終えた後、荒川バラの会の会員による開場宣言により、第1回あらかわバラの市を開場した。 2,000鉢用意した鉢バラが、昼すぎには完売となった。				
必要性	花や緑とのふれあう機会の拡大につながるイベントとして、大変有効である。花と緑の街づくりの起爆剤として大いに期待できる事業である。				
実施方法	（2一部委託） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） あらかわバラの市会場設営業務委託 株式会社三和管財 委託金額 ¥1,969,800-				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	
予算額							4,912	
決算額（21年度は見込み）							4,912	
人件費								
【事務分担量】（%）								
合計（+）							4,912	
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）								
一般財源							4,912	
実績の推移	事項名	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
	鉢バラの販売数量（鉢）							2,000

事務事業分析シート（平成21年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成19年度（決算）		平成20年度（決算）		平成21年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
						講師謝礼、出演料	150
						バラ市用飲物等	58
						バラ市用消耗品	2,223
						印刷製本	483
						会場設営委託	1,989
						会議室使用料	9

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		18年度	19年度	20年度	21年度	目標値 (22年度)	
標	鉢バラの販売数(鉢)				2,000	3,000	

(問題点・課題分析)	<p>開場当初は、来場者が殺到した。 将来的には、区の直売方式を改め、バラの業者が集い販売を行う本来の「市」として成長させていく必要がある。</p>
他区の実況	(実施 区 未実施 22 区)

問題点・課題の改善策検討	
平成22年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
会場の拡大や整理券の配布等、実施方法を改善する。	会場の拡大は、バラの市の発展につながり、より大きな事業効果を得られる。 整理券の配布や入場制限等により、参加者がゆっくりバラを選べる。
実行委員会形式、生花商組合等との協定方式など、様々な開催方法の検討を行なう。	バラの市に、区民や事業者がより深く係わることで、花と緑のまちづくりを効果的に進めることができる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
	重点的に推進	区民の満足度も高く、観光の視点からも重要な事業である。

(状況要質問)	H21二定 イベント（あらかわバラの市の拡大・充実）による地域の活性化について（一般質問）
---------	---

事務事業分析シート（平成21年度）

No1

事務事業名	公衆トイレ管理事業	部課名	土木部公園緑地課	課長名	川原宏一
		担当者名	井戸 清	内線	2757
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（21年度）	維持費（公衆便所管理費）（01-05-01）				
事務事業の種類	新規事業（21年度 20年度）	建設事業	それ以外の継続事業		
開始年度	昭和 平成 元 年度	根拠			
終期設定	有 無 年度	法令等			
実施基準	法令基準内 都基準内 区独自基準	計画区分	計画	非計画	
行政評価事業体系	分野	環境先進都市[]			
	政策	良好で快適な生活環境の形成[08]			
	施策	緑とうるおい豊かな生活環境づくり[08-01]			
目的	公園及び公衆トイレ利用者が快適に利用できるよう、公衆トイレを清潔に維持する。				
対象者等	区民及び荒川区を訪れる人				
内容	公衆トイレ数 35箇所 業務内容 【清掃】 4回/日 6箇所（日暮里駅東口・日暮里駅西口・南千住駅ガード下・南千住一丁目・西日暮里駅前・ドノウ広場） 2回/日 29箇所 【修繕】 適宜				
経過	昭和42年10月、公園課の新設により、区民課から事業を引き継ぐ。 平成20年度から ぴかぴかトイレ事業を開始 <清掃回数：2回 4回/日、1回 2回/日> <トイレトーパー、消臭剤、清掃用具設置>				
必要性	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に、地方自治体は必要な場所に公衆トイレを設けて衛生的に維持管理することを義務づけている。公衆トイレを清潔・快適に保つていくために清掃、修繕等の維持管理は必要不可欠である。				
実施方法	（2一部委託） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 公衆便所清掃委託 H20年度 ㈱都立建設工業 委託金額 ¥29,220,927-				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	
予算額	17,100	17,066	17,066	17,066	20,044	37,636	36,744	
決算額（21年度は見込み）	15,251	15,022	14,716	11,649	18,804	35,496	36,744	
人件費			7,326	7,259	7,003	8,609		
【事務分担量】（%）			85	85	82	123		
合計（+）	15,251	15,022	22,042	18,908	25,807	44,105	36,744	
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）								
一般財源	15,251	15,022	22,042	18,908	25,807	44,105	36,744	
実績の推移	事項名	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度

事務事業分析シート（平成21年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成19年度（決算）		平成20年度（決算）		平成21年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	光熱水費	電気・水道料	3,990	電気・水道料	4,826	電気・水道料	4,524
一般需要費	水・電気施設修繕	1,260	水・電気施設修繕	1,449	水・電気施設修繕	1,566	
委託料	清掃委託	13,555	清掃委託	29,221	清掃委託	30,654	

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		18年度	19年度	20年度	21年度	目標値 (22年度)	
	陳情件数	2	4	2	1	0	陳情件数ゼロを目指す

（問題点・課題分析）	<ul style="list-style-type: none"> ・施設物の経年劣化、いたずら等による汚損、破損により利用者の快適性が損なわれる。
他区の実況	（ 実施 22 区 未実施 区 ）

問題点・課題の改善策検討	
平成22年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
<ul style="list-style-type: none"> ・汚損、破損の著しい便器などの交換、破損したトイレ、故障したフラッシュバルブ、センサーなどの修繕または交換を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生的、快適に使用できる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
重点的に推進	推進	区のイメージのためにも、トイレ利用者が快適に利用できるよう衛生には特に配慮しなければならない。

議（要質問状）	<p>平成19年度予算特別委員会にて清潔なトイレ環境の維持管理について要望あり</p> <p>平成20年度予算特別委員会にてペーパー設置、マナー向上策、フラッシュバルブの改修等について要望あり</p>
---------	--

事務事業分析シート（平成21年度）

No1

事務事業名	公衆トイレ新設改良事業	部課名	土木部公園緑地課	課長名	川原宏一
		担当者名	岡田 晃	内線	2754
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（21年度）	新設改良費（公衆便所管理費）(01-05-02)				
事務事業の種類	新規事業（21年度 20年度）	建設事業	それ以外の継続事業		
開始年度	昭和 平成 42 年度	根拠			
終期設定	有 無 年度	法令等			
実施基準	法令基準内 都基準内 区独自基準	計画区分	計画	非計画	
行政評価事業体系	分野	環境先進都市[]			
	政策	良好で快適な生活環境の形成[08]			
	施策	緑とうるおい豊かな生活環境づくり[08-01]			
目的	公衆トイレを適正に配置し、区民が気軽に利用できるような清潔で快適なトイレに整備、改善する。				
対象者等	区民および荒川区を訪れる人				
内容	<p>平成8年2月に荒川区公衆トイレ設置基準を制定し、設置間隔500mを標準として設置している。また、鉄道駅前および駅周辺については間隔にかかわらず設置している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公衆トイレ新設・・・新たに設置 ・公衆トイレ改良・・・老朽化したトイレの撤去・新設 ・公衆トイレ改修・・・部分的な改修、塗装等 <p>公園、児童遊園のトイレも公衆トイレとしての機能を担っている。</p>				
経過	<p>昭和63年度から平成5年度まで、アメニティトイレの整備（実施計画事業）機能の向上やデザイン等に配慮した質の高い整備を行ない、清潔でかつ快適な施設とした。毎年1箇所を標準として7箇所を整備した。</p> <p>平成8年2月、荒川区公衆トイレ設置基準の制定し、公園・児童遊園の全面改修や市街地再開発に伴って改良している。</p> <p>平成16年度 東尾久上公衆トイレ 平成19年度 日暮里駅東口公衆トイレ（ひぐらしの里西地区第一種再開発事業：財産引継） 平成19年度 峡田児童遊園公衆トイレ 平成21年度 荒川東公園公衆トイレ（公園全面改修にあわせて改修予定）</p>				
必要性	<p>廃棄物の処理及清掃に関する法律に、必要な場所に公衆トイレを設けて衛生的に維持管理することを義務づけている。</p> <p>生活環境の保全及び公衆衛生の向上の観点から不可欠な施設であることから、荒川区公衆トイレに関する条例を定めている。</p>				
実施方法	<p>（2一部委託） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）</p> <p>請負工事により実施</p>				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
		15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
予算額		471	6,168	471	471	7,571	1,840	4,520
決算額（21年度は見込み）		398	4,972	286	393	7,395	1,010	4,520
人件費				861	854	5,039	678	
【事務分担当】（%）				10	10	59	8	
合計（+）		398	4,972	1,147	1,247	12,434	1,688	4,520
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）								
一般財源		398	4,972	1,147	1,247	12,434	1,688	4,520
実績の推移	事項名	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
	公衆トイレ改修		1	0	0	1	0	1
	公衆トイレ塗装	1	1	1	1	1	1	1

事務事業分析シート（平成21年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成19年度（決算）		平成20年度（決算）		平成21年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	工事請負	建物塗装	442	建物塗装	365	建物塗装	471
	建物改築	6,657	ホルダー設置	645	トイレ改修工事	4,049	
	ホルダー設置	297					

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		18年度	19年度	20年度	21年度	目標値 (22年度)	
	公衆トイレ設置累計（箇所）	35	35	35	35	35	
	公衆トイレの改良率（％）	51	51	57	60	63	改良済みの数/公衆トイレの数

（問題点・課題）	<p>公衆トイレ35箇所のうち、設置後25年以上経っているものが9箇所と3割近くを占めており、施設の老朽化が進んでいる。</p> <p>高齢者、障害者等が利用しやすい建築物の整備に関する条例（東京都平成18年12月）の施行により、今後建設するトイレは、バリアフリー化することが求められる。</p>
他区の実況	（実施 22 区 未実施 区）

問題点・課題の改善策検討	
平成22年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
公衆トイレについては、公園・児童遊園トイレも含めて、計画的な改修に取り組む。	着実な改修により、トイレの快適性を高められる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
重点的に推進	推進	公衆トイレを清潔で快適なトイレに整備・改善することは必要な事業である。

議会議況（要旨）	
----------	--

事務事業分析シート（平成21年度）

No1

事務事業名	区民農園事業	部課名	土木部公園緑地課	課長名	川原宏一																					
		担当者名	諸角明彦	内線	2752																					
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（21年度）	区民農園事業（01-06-01）																									
事務事業の種類	新規事業（21年度 20年度）		建設事業	それ以外の継続事業																						
開始年度	昭和 平成	年度	根拠																							
終期設定	有 無	年度	法令等																							
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画																					
行政評価事業体系	分野	環境先進都市[]																								
	政策	良好で快適な生活環境の形成[08]																								
	施策	緑とうるおい豊かな生活環境づくり[08-01]																								
目的	自然に親しむ機会の少ない区民が土と親しみ、収穫の喜びを味わうことのできる場所を提供する。また、みどり豊かなまちづくりを進めるために、農作業を通してみどりとふれあう事で、区民一人ひとりの緑化意識や知識等を高めることを目的とする。																									
対象者等	・区内に在住している世帯かつ農園芸に対して熱意のある世帯																									
内容	足立区内の農地を無償で借用し、区民農園として開設している。第1区民農園・第3区民農園の2箇所あり、1区画は約12㎡で使用料は4,700円（1年）である。利用期間については、第1農園は2年間、第3農園は1年間としている。毎年12月の区報で利用者を募集し、応募者が区画数を越えた場合は公開抽選を行っている。																									
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>所在地</th> <th>総面積</th> <th>区画数</th> <th>有料区画</th> <th>減免区画</th> <th>使用年数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第一農園</td> <td>足立区扇1</td> <td>1,177.62㎡</td> <td>80区画</td> <td>78区画</td> <td>2区画</td> <td>2年</td> </tr> <tr> <td>第三農園</td> <td>足立区扇1</td> <td>1,055.90㎡</td> <td>55区画</td> <td>53区画</td> <td>2区画</td> <td>1年</td> </tr> </tbody> </table>	名称	所在地	総面積	区画数	有料区画	減免区画	使用年数	第一農園	足立区扇1	1,177.62㎡	80区画	78区画	2区画	2年	第三農園	足立区扇1	1,055.90㎡	55区画	53区画	2区画	1年				
名称	所在地	総面積	区画数	有料区画	減免区画	使用年数																				
第一農園	足立区扇1	1,177.62㎡	80区画	78区画	2区画	2年																				
第三農園	足立区扇1	1,055.90㎡	55区画	53区画	2区画	1年																				
経過	平成4年度 事業化。所管は、地域振興部区民課 平成5年度 公園緑地課の所管となる。 平成10年度 利用料金を改定。3,000円 3,600円（1年につき） 平成12年度 利用料金を改定。3,600円 4,700円（1年につき） 平成13年1月 第2区民農園の1,149㎡（95区画分）を地主に返還。 平成17年2月 「区民農園休息所及び農具置場」を地主に返還 平成18年3月 第2区民農園の1,233㎡（79区画分）を地主に返還。 平成19年3月 第3区民農園を開設。 平成19年9月 第2区民農園の1,050㎡（56区画分）を地主に返還。																									
必要性	区画数を上回る応募が続いており、人気の高い事業である。また、植物を育てる楽しさや収穫の喜びを体験することを通じて、区民のみどりへの意識や知識等を高める効果がある。																									
実施方法	（2一部委託） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）																									

予 算・決 算 額 等 の 推 移	（単位：千円）							
	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	
予算額	1,779	1,776	6,657	9,087	1,495	1,074	1,059	
決算額（21年度は見込み）	1,679	1,666	3,977	8,289	1,276	896	1,059	
人件費			8,188	8,967	6,698	3,522		
【事務分担量】（%）			95	105	82	43		
合計（+）	1,679	1,666	12,165	17,256	7,974	4,418	1,059	
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）	959	928	616	616	615	615	615	
一般財源	720	738	11,549	16,640	7,359	3,803	444	
実績の推移								
事項名	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	
区画数計	209	209	209	189	135	135	135	
第一農園	80	80	80	80	80	80	80	
第二農園	129	129	129	54	-	-	-	
第三農園				55	55	55	55	

事務事業分析シート（平成21年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成19年度（決算）		平成20年度（決算）		平成21年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	報償費	区民農園管理指導料		240	区民農園管理指導料	240	区民農園管理指導料
光熱水費	電気料金・水道料金		58	電気料金・水道料金	68	電気料金・水道料金	124
一般需要費	消耗品・修繕		87	消耗品・修繕	46	消耗品・修繕	47
役務費	塵芥処分・運搬、除草、		493	塵芥処分・運搬、除草、	351	塵芥処分・運搬、除草、	426
委託料	便所清掃委託		30	便所清掃委託	30	便所清掃委託	58
委託料	巡回監視委託			巡回監視委託	161	巡回監視委託	164
工事請負費	復旧工事		368				

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		18年度	19年度	20年度	21年度	目標値 (22年度)	
標	抽選倍率（第一農園）	-	3.89	-	-	-	農園応募者数 / 区画数
標	抽選倍率（第三農園）	3.92	1.74	4.96	-	-	農園応募者数 / 区画数

（問題点・課題 指標分析）	<ul style="list-style-type: none"> ・日暮里・舎人ライナーの開業により、農園が駅に近接し土地の利用価値が高まった。このため、土地所有者から返還が求められる可能性がある。 ・区は、生産緑地法に規定する主たる従事者として認められない。このため、土地所有者は、当該土地の転用等が簡単に行なえないという問題発生する可能性がある。 ・利用者マナーの悪化、利用者同士のトラブル等が報告されている。
他区の実況	（実施 13 区 未実施 9 区）

問題点・課題の改善策検討	
平成22年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
足立区と連携して、用地情報の収集に努める。また、荒川内においても公園や児童遊園等を活用した区民農園用地の確保について、検討していく。	新たな区民農園用地が確保される。
利用者証の改善、見回りの強化等を進める。	悪質な利用者を排除し、快適に利用できる農園とする。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
継続	継続	区民農園は人気が高く、利用者に喜ばれている事業なため、着実に進める必要がある。

議 会 質 問 状 況 （ 要 旨 ）	
--	--

事務事業分析シート（平成21年度）

No1

事務事業名	区民主体の街なか花壇づくり事業	部課名	土木部公園緑地課	課長名	川原宏一
		担当者名	齋藤 洋	内線	2752
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（21年度）	区民主体の街なか花壇づくり事業費（01-07-01）				
事務事業の種類	新規事業（21年度 20年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	年度	根拠		
終期設定	有 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内 都基準内 区独自基準		計画区分	計画	非計画
行政評価事業体系	分野	環境先進都市[]			
	政策	良好で快適な生活環境の形成[08]			
	施策	緑とうるおい豊かな生活環境づくり[08-01]			
目的	緑の少ない荒川区に花と緑の空間を創出していくために、区民が主体となって花壇づくりを行う。街の環境美化と区民同士のコミュニティの向上を図る。				
対象者等	・公募による申込み ・地元町会 ・サークル等				
内容	町会やグループなどの団体が自主的に行う花壇づくりを支援し、花のまちづくりを進める。区民が主体となって、草花の植え付けやその後の水やり・除草等を行う。花壇は、区が借り受けた用地に整備したり、大型のプランター（貸し出し）等により行う。活動団体と協定書を結び、区は、花苗の支給、道具類の支給・貸与、ボランティア保険の加入等の活動支援をする。				
経過	<p>【平成12年度】 モデルケースとして、荒川一丁目（千住間道）の都市計画道路残地内を借り上げて、花の植え付け教室を開催し、地元で管理。</p> <p>【平成13年度】 花壇設置1か所（荒川三丁目）</p> <p>【平成14年度】 花壇設置2か所（東尾久六丁目、西日暮里五丁目）</p> <p>【平成15年度】 花壇設置2か所（南千住八丁目、南千住八丁目第二）</p> <p>【平成17年度】 花壇設置1か所（南千住六丁目）</p> <p>【平成18年度】 花壇設置7か所（千住間道、ほか6箇所）</p> <p>【平成19年度】 花壇設置9か所（千住間道グリーンスポット、ほか8箇所）</p> <p>【平成20年度】 花壇設置8か所（新地児童遊園、ほか6箇所） 平成20年9～10月に写真展実施</p> <p>【平成21年度】 花壇設置7か所（南千住コソ通り、ほか6箇所）</p>				
必要性	緑が少ない荒川区の中で、花や緑に囲まれた街並みを形成するためには、区民が自分の暮らす街への愛着を高め、自らが維持管理する花づくりに取り組むことが重要である。また、そのためには、区が花や緑とのふれあいの場を提供し、活動を支援する必要がある。				
実施方法	（2一部委託） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 街なか花壇づくり作業委託 株式会社アサノグリーン 委託金額 ¥8,776,440-（上限総額）				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	
予算額	397	401	385	19,550	9,989	12,555	17,262	
決算額（21年度は見込み）	146	88	316	3,650	5,441	10,567	17,262	
人件費			1,724	3,416	3,416	4,659		
【事務分担量】（%）			20	40	40	55		
合計（+）	146	88	2,040	7,066	8,857	15,226	17,262	
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）								
一般財源	146	88	2,040	7,066	8,857	15,226	17,262	
実績の推移	事項名							
	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	
設置	2	0	1	7	9	8	7	
参加団体数	5	5	6	13	22	30	37	

事務事業分析シート（平成21年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成19年度（決算）		平成20年度（決算）		平成21年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
		一般需用費	花壇用草花苗等	1,749	花壇用草花苗等	4,899	花壇用草花苗等
役務費	ボランティア保険	28	ボランティア保険	55	ボランティア保険	96	
委託料	街なか花壇づくり作業委託	3,434	街なか花壇づくり作業委託	5,113	街なか花壇づくり作業委託	8,777	
工事請負費	花壇造成工事	230	花壇造成工事	500	花壇造成工事	531	

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		18年度	19年度	20年度	21年度	目標値 (22年度)	
	街なか花壇の数	13	22	30	37	118	目標値は全町会数

（問題点・課題）	花いっぱいのみちづくりを進める上で、町会や商店街等を対象としてできるだけ多くの団体の参加が必要となるが、参加意欲をしめず団体が少ない。 参加団体の増加に伴い、植替え時期、花苗の種類や色・数量などの団体毎へのきめ細かな調整・対応が厳しくなっている。
他区の実況	（実施 6 区 未実施 16 区） 杉並区においては、106団体(875名)が「花咲かせ隊」として自主的・主体的に花壇の維持管理を行っており、本事業にとっても学ぶところは多い。

問題点・課題の改善策検討	
平成22年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
花壇の未設置の町会を優先的にPRする。	花いっぱいのみちづくりを進めることができる。
全団体について植替え時期の統一を検討していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・全団体の植替えが同時期に行われることにより、統一感のある花の街づくりを進める事ができる。 ・花壇維持に係る事務量の軽減につながる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	推進	区民と協働して花いっぱいのみちづくりを進めるための重要な事業である。

況議 （要質 旨問 状）	H18二定 花いっぱいのみちづくりの推進（一般質問） H21一定 道路沿いにおける街なか花壇の推進（一般質問） H21二定 藍染川通りへのプランターの設置（一般質問）
-----------------------	---

事務事業分析シート（平成21年度）

No1

事務事業名	花の公園整備事業	部課名	土木部公園緑地課	課長名	川原宏一
		担当者名	茂手木瑞紀	内線	2752
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（21年度）	花の公園整備事業（01-08-01）				
事務事業の種類	新規事業（21年度 20年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	18 年度	根拠	都市公園法	
終期設定	有 無	年度	法令等	荒川区立公園条例及び同条例施行規則	
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	環境先進都市[]			
	政策	良好で快適な生活環境の形成[08]			
	施策	緑とうるおい豊かな生活環境づくり[08-01]			
目的	花と緑のまちづくりのモデルとして、庁舎前の区民の憩いの場である荒川公園を花あふれる公園として整備し、維持管理する。				
対象者等	区民、来園者、来庁者				
内容	荒川公園において、年間を通じて花が観賞できるように、花壇・プランターの植替え等の維持管理を行う。				
経過	平成18年度 荒川公園花壇整備工事を実施し、花壇やプランターを増設 平成21年度 荒川公園南側トイレ跡地に花壇を増設予定				
必要性	花と緑のまちづくりを進める拠点として、シンボリックな公園が必要である。				
実施方法	（3委託） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 荒川公園花壇維持管理委託 岩田造園土木株式会社 委託金額 ¥14,292,163-（上限総額）				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	
予算額				16,408	9,842	9,842	14,293	
決算額（21年度は見込み）				11,419	9,014	9,698	14,293	
人件費				1,708	1,281	1,271		
【事務分担量】（%）				20	15	15		
合計（+）	0	0	0	13,127	10,295	10,969	14,293	
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）								
一般財源	0	0	0	13,127	10,295	10,969	14,293	
実績の推移	事項名	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
	花壇面積(m ²)				154	154	154	158

事務事業分析シート（平成21年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成19年度（決算）		平成20年度（決算）		平成21年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	委託料	花壇維持管理委託	9,014	花壇維持管理委託	9,698	花壇維持管理委託	14,293

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		18年度	19年度	20年度	21年度	目標値 (22年度)	
標	花壇面積(m ²)	154	154	154	158	-	花壇 + プランター

（問題点・課題）	<p>荒川公園は、既存の大きな樹木が多く、花壇に適した日当たりの良い開放的な空間がきわめて少ないため、花の公園にふさわしい花壇の配置や量を確保できないのが実情である。</p>
他区の実況	（ 実施 区 未実施 22 区 ）

問題点・課題の改善策検討	
平成22年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
<p>現在シールド発進基地として下水道局が占用している実のなる木公園については、復旧時に花壇の設置を検討していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公園内の花壇を充実することにより、庁舎に来るお客様を気持ちよく迎えることができる。 ・花と緑のまちづくりのキーステーションとしての価値が高まる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
継続	継続	花いっぱいのもちづくりのモデルとして、実施した荒川公園の花の維持管理は重要な事業である。

議会議決要旨	H18二定 一般質問で花いっぱいの街づくりの推進の要望
--------	-----------------------------

事務事業分析シート（平成21年度）

No1

事務事業名	イルミネーション設置事業	部課名	土木部公園緑地課	課長名	川原宏一
		担当者名	塚野 真博	内線	2757
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（21年度）	イルミネーション設置費（34-52-50-01）				
事務事業の種類	新規事業（21年度 20年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	17 年度	根拠		
終期設定	有 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	環境先進都市[]			
	政策	良好で快適な生活環境の形成[08]			
	施策	緑とうるおい豊かな生活環境づくり[08-01]			
目的	公共施設内の樹木等にイルミネーションを装飾することにより、地域や街のイメージアップと区民の憩いの場を提供する。				
対象者等	区民、区内主要駅（日暮里、南千住、町屋）利用者、商店街（小台通り）利用者				
内容	対象施設 荒川公園、日暮里駅前広場、南千住駅連絡通路、町屋駅前、小台通り 装飾期間 12月上旬から1月中旬まで				
経過	平成17年度：荒川公園（直営）実施 平成18年度：荒川公園、日暮里駅前広場で実施 平成19年度：荒川公園、日暮里駅前広場、南千住駅連絡通路で実施 平成20年度：荒川公園、日暮里駅前広場、南千住駅連絡通路、町屋駅前、小台通りで実施 平成21年度：荒川公園、日暮里駅前広場、南千住駅連絡通路、町屋駅前、小台通りで実施予定				
必要性	商店会組合や地域住民からの要望が強い。				
実施方法	（3委託） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 平成20年度 イルミネーション装飾委託（株）ウチダテクノ 委託金額¥8,295,000-				

		（単位：千円）							
予算・決算額等の推移		15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	
	予算額				15,127	16,373	10,384	13,788	
	決算額（21年度は見込み）				13,440	14,873	8,338	13,788	
	人件費				854	854	1,694		
	【事務分担量】（%）				10	10	20		
	合計（+）		0	0	0	14,294	15,727	10,032	13,788
	国（特定財源）								
都（特定財源）									
その他（特定財源）									
一般財源		0	0	0	14,294	15,727	10,032	13,788	
実績の推移	事項名	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	
	設置箇所数			1	2	3	5	5	

事務事業分析シート（平成21年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成19年度（決算）		平成20年度（決算）		平成21年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	光熱水費	電気使用料	18	電気使用料	43	電気使用料	451
委託料	イルミネーション装飾費	14,855	イルミネーション装飾費	8,295	イルミネーション装飾費	13,337	

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		18年度	19年度	20年度	21年度	目標値 (22年度)	
	設置個所数	2	3	5	5	5	各町（尾久、町屋、荒川、日暮里、南千住）で実施

（問題点・課題）	<p>毎年、イルミネーション電飾の設置及び撤去に、専門業者への委託経費を要する。電気代の無駄、環境負荷（CO2排出）があるとの批判的な意見がある。</p>
他区の実況	<p>（実施 3 区 未実施 19 区）</p> <p>ほとんどの区において、商店会などが主体となって実施する場合に助成金等を出している。</p>

問題点・課題の改善策検討	
平成22年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
規模を縮小し、点灯期間及び点灯時間を短縮する。	区民等の理解が得られやすい。
商店会等民間活力を導入する。	コミュニティの形成や地域住民の自主活動が活発になる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
継続	継続	冬の街のイメージアップを図るうえで必要な事業である。

議会議決（要旨）	<p>平成20年予算特別委員会にて、区内各町（5地区）で実施すること及びライン状ではなくスポット的に実施してはどうかとの要望があった。</p>
----------	---

事務事業分析シート（平成21年度）

No1

事務事業名	公園管理事業	部課名	土木部公園緑地課	課長名	川原宏一
		担当者名	井戸 清	内線	2757
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（21年度）	公園管理費(01-01-01)				
事務事業の種類	新規事業（21年度 20年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	32 年度	根拠	都市公園法・荒川区立公園条例及び同条例施行規則	
終期設定	有 無	年度	法令等	荒川区立荒川自然公園条例及び同条例施行規則	
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	環境先進都市[]			
	政策	良好で快適な生活環境の形成[08]			
	施策	緑とうるおい豊かな生活環境づくり[08-01]			
目的	区民等が利用する公園施設を安全・快適・清潔に維持する。				
対象者等	区民及び荒川区を訪れる人				
内容	対象施設 ・区立公園（あらかわ遊園を除く32箇所） 業務内容 ・園内の清掃 ・樹木の剪定 ・遊具の安全点検及び修繕 ・電気施設の保持 ・その他施設の維持				
経過	平成13年度 清掃業務は4箇所が週6日に、その他は週3日に見直された。 平成15年度 モデル花壇維持費の事業廃止に伴い、本事業に花壇維持管理委託を組替した。 平成15年度 グリーンサポーター制度（児童遊園、グリーンスポットを含む）の試行を実施。 平成15年度 清掃業務は週5日が3箇所、週3日が15箇所、週2日が10箇所に見直された。 平成16年度 夜間巡回業務を実施。（16年度のみ公園緑地課で実施～危機管理対策室に執行委任） 平成17年度 地域防犯のための照明器具の清掃及び電球の交換を実施。 平成18年度 清掃業務は週6日が1箇所、週5日が2箇所、週3日が17箇所、週2日が9箇所に見直された。 平成19年度 清掃業務は週6日が1箇所、週5日が2箇所、週3日が17箇所、週2日が10箇所に見直された。 （町屋七丁目公園追加・週2日） 平成19年度 公園等遊具緊急安全点検を実施。 平成20年度 巡回業務委託を実施。				
必要性	区民が安心して利用できる衛生的で安全な公園を提供するため、適正に管理することが必要である。				
実施方法	（2一部委託）		（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）		
	公園清掃委託	H19年度	シルバー人材センター	委託金額	¥22,685,450-
		H20年度	シルバー人材センター	委託金額	¥23,537,115-
	公園便所清掃委託	H19年度	シルバー人材センター	委託金額	¥4,993,962-
		H20年度	シルバー人材センター	委託金額	¥11,832,034-
	公園便所清掃委託	H19年度	㈱都立建設工業	委託金額	¥6,037,344-
		H20年度	㈱都立建設工業	委託金額	¥11,315,310-
荒川公園清掃委託	H19年度	㈱都立建設工業	委託金額	¥6,352,188-	
	H20年度	㈱東宝クリーンサービス	委託金額	¥12,452,853-	

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	
予算額	217,773	209,181	191,578	194,513	218,812	245,422	256,103	
決算額（21年度は見込み）	190,693	174,183	151,809	174,475	197,570	232,561	256,103	
人件費			60,384	59,938	55,648	51,210		
【事務分担量】（%）			990	990	966	1,021		
合計（+）	190,693	174,183	212,193	234,413	253,218	283,771	256,103	
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）	13,722	18,267	18,316	11,001	10,371	15,362	10,145	
一般財源	176,971	155,916	193,877	223,412	242,847	268,409	245,958	
実績の推移	事項名							
	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	
公園数(園)	31	31	31	32	32	33	33	
公園面積(m ²)	180,098	180,278	180,278	195,316	195,316	196,532	196,532	
グリーンサポーター(施設数)	17	21	25	26	27	27		

事務事業分析シート（平成21年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成19年度（決算）		平成20年度（決算）		平成21年度（予算）	
		主な事項		主な事項		主な事項	
		金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）		
報償費	公園連絡員謝礼	694	公園連絡員謝礼	714	公園連絡員謝礼	720	
光熱水費	電気・水道料金	35,248	電気・水道料金	46,726	電気・水道料金	46,470	
一般需要費	消耗品・家屋修繕料	10,204	消耗品・家屋修繕料	10,273	消耗品・家屋修繕料	11,629	
役務費	塵芥収集、運搬、処理	9,693	塵芥収集、運搬、処理	12,995	塵芥収集、運搬、処理	18,897	
委託費	清掃等委託	139,586	清掃等委託	159,016	清掃等委託	175,606	
原材料費	公園維持管理用材料	1,834	公園維持管理用材料	1,845	公園維持管理用材料	1,853	

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		18年度	19年度	20年度	21年度	目標値 (22年度)	
標	陳情件数	97	107	126	100	50	陳情件数を限りなくゼロに近づける
標	遊具の定期点検結果(%)	-	80	-	82	84	Dランク(至急対策が必要)以外の遊具数/全遊具数

（問題点・課題）	<p>・遊具の定期点検については、区では隔年で実施しているが、「都市公園における遊具の安全確保に関する指針」(国土交通省、平成14年3月)では年1回以上となっている。また、同指針の改訂(平成20年8月)では、標準使用期間を超えた遊具の点検頻度を高くすることが付加されるなど、安全点検体制の強化が求められている。</p> <p>・陳情件数の増加や維持管理を担う直営の減員などにより、計画的に維持管理作業をしていくことが難しくなっている。</p>
他区の実況	（実施 22 区 未実施 区）

問題点・課題の改善策検討	
平成22年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
・遊具の定期点検の頻度を高め、年1回とする。	・遊具の安全措置を適時に行うことができ、公園の安全性が高まる。
・維持管理業務の委託化を拡大する。	・維持管理作業を計画的に行うことができ、陳情件数を少なくすることができる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	推進	公園の管理は、直接区民の利用に影響することから適正に実施しなければならない。

況議 （要 質 問 旨 状）	平成19年度予算特別委員会にて公園利用者のマナー向上について要望があった。
-------------------------------	---------------------------------------

事務事業分析シート（平成21年度）

No1

事務事業名	児童遊園管理事業	部課名	土木部公園緑地課	課長名	川原宏一												
		担当者名	井戸 清	内線	2757												
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（21年度）	児童遊園管理費(01-02-01)																
事務事業の種類	新規事業（21年度 20年度）		建設事業	それ以外の継続事業													
開始年度	昭和 平成	39 年度	根拠法令等	荒川区立児童遊園条例													
終期設定	有 無	年度															
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画												
行政評価事業体系	分野	環境先進都市[]															
	政策	良好で快適な生活環境の形成[08]															
	施策	緑とうるおい豊かな生活環境づくり[08-01]															
目的	・主に児童等が利用する児童遊園等の施設を安全・快適・清潔に維持する。																
対象者等	・小学校区を単位とした地域住民で、主に児童																
内容	対象施設 ・区立児童遊園等(右表のとおり) 業務内容 ・園内の清掃 ・樹木の剪定 ・遊具の安全点検及び修繕 ・電気施設の保守 ・その他施設の維持	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>区 分</th> <th>箇所数</th> </tr> <tr> <td>児童遊園</td> <td>71</td> </tr> <tr> <td>広場・遊び場</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>グリーンスポット</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>緑地</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>91</td> </tr> </table>				区 分	箇所数	児童遊園	71	広場・遊び場	5	グリーンスポット	11	緑地	4	計	91
区 分	箇所数																
児童遊園	71																
広場・遊び場	5																
グリーンスポット	11																
緑地	4																
計	91																
経過	平成7年度 清掃業務は全箇所週6日から週3日に見直された。 平成15年度 区の木「サクラ」及び緑地の維持管理業務が都電通り等緑地維持管理業務から本事業に組替。 平成15年度 清掃業務は週5日が1箇所(三ノ輪橋広場:都電通り緑地維持管理業務から組替)、週3日が週18箇所、週2日が週56箇所、週1日5箇所に見直しされた。 平成17年度 地域防犯のための照明器具の清掃及び電球の交換を実施。(地域ごとに計画的に実施) 平成19年度 公園等遊具緊急安全点検を実施。 平成20年度 巡回業務委託を実施。																
必要性	児童、区民等が安心して利用できる衛生的で安全な児童遊園等を提供するため、適正に管理することが必要である。																
実施方法	(二部委託) (直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員) 児童遊園等清掃委託 H19年度 シルバー人材センター 委託金額 ￥10,186,191- H20年度 シルバー人材センター 委託金額 ￥10,227,408-																

予 算・決 算 額 等 の 推 移	(単位 : 千円)							
	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	
予算額	41,859	42,910	43,429	42,691	51,628	51,064	57,056	
決算額(21年度は見込み)	37,297	37,875	33,238	39,089	46,392	46,015	57,056	
人件費			50,852	49,532	43,334	38,351		
【事務分担量】(%)			590	580	536	556		
合計(+)	37,297	37,875	84,090	88,621	89,726	84,366	57,056	
国(特定財源)								
都(特定財源)								
その他(特定財源)								
一般財源	37,297	37,875	84,090	88,621	89,726	84,366	57,056	
実績の推移								
	事項名	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
	児童遊園数(園)	69	70	70	70	70	70	71
	児童遊園面積(m ²)	32,264	32,739	32,739	32,739	32,739	32,739	33,452
	区の木サクラ(本)				308	281	274	274

事務事業分析シート（平成21年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成19年度（決算）		平成20年度（決算）		平成21年度（予算）	
		主な事項		主な事項		主な事項	
		金額（千円）		金額（千円）		金額（千円）	
	報償費	公園連絡員謝礼	1,748	公園連絡員謝礼	1,734	公園連絡員謝礼	1,800
	光熱水費	電気、水道料金	4,573	電気、水道料金	4,697	電気、水道料金	5,453
	一般需要費	消耗品費	3,224	消耗品費	3,394	消耗品費	4,060
	役務費	塵芥収集、運搬、処理	7,187	塵芥収集、運搬、処理	8,168	塵芥収集、運搬、処理	11,446
	委託料	清掃委託・その他委託	26,199	清掃委託・その他委託	25,404	清掃委託・その他委託	31,190
	使用料及び賃借料	児童遊園用地賃借料	1,258	児童遊園用地賃借料	1,258	児童遊園用地賃借料	1,258
	原材料費	維持管理用原材料費	1,354	維持管理用原材料費	1,361	維持管理用原材料費	1,372

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		18年度	19年度	20年度	21年度	目標値 (22年度)	
標	陳情件数	130	145	156	100	50	陳情件数を限りなくゼロに近づける
	遊具の定期点検結果(%)	-	90	-	92	94	Dランク(至急対策が必要)以外の遊具数/全遊具数

（問題点・課題）	<p>・遊具の定期点検については、区では隔年で実施しているが、「都市公園における遊具の安全確保に関する指針」(国土交通省、平成14年3月)では年1回以上となっている。また、同指針の改訂(平成20年8月)では、標準使用期間を超えた遊具の点検頻度を高くすることが付加されるなど、安全点検体制の強化が求められている。</p> <p>・陳情件数の増加や維持管理を担う直営の減員などにより、計画的に維持管理作業をしていくことが難しくなっている。</p>
他区の実況	（実施 22 区 未実施 区）

問題点・課題の改善策検討	
平成22年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
・遊具の定期点検の頻度を高め、年1回とする。	・遊具の安全措置を適時に行うことができ、公園の安全性が高まる。
・維持管理業務の委託化を拡大する。	・維持管理作業を計画的に行うことができ、陳情件数を少なくすることができる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
継続	推進	児童遊園の管理は、直接区民の利用に影響することから適正に実施しなければならない。

況議 （要質 旨問 状）	平成19年度予算特別委員会にて公園利用者のマナー向上について要望があった。
-----------------------	---------------------------------------

事務事業分析シート（平成21年度）

No1

事務事業名	荒川遊園管理運営事業	部課名	土木部公園緑地課	課長名	川原宏一
		担当者名	大島 武	内線	2751
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（21年度）	荒川遊園管理費（01-03-01）、荒川遊園運営費(01-03-02)				
事務事業の種類	新規事業（21年度 20年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	25 年度	根拠	都市公園法	
終期設定	有 無	年度	法令等	荒川区立公園条例及び同条例施行規則	
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	環境先進都市[]			
	政策	良好で快適な生活環境の形成[08]			
	施策	緑とうるおい豊かな生活環境づくり[08-01]			
目的	都内唯一の区立遊園地として、区内外の人々が楽しく利用できる施設を目指した管理・運営を行う				
対象者等	小学校低学年の子どもを持つファミリー層を中心に、その他不特定多数の区内外の利用者				
内容	<p>【荒川遊園の概要】 総面積50,857㎡ A地区...31,482㎡（有料地区 のりもの広場 どうぶつ広場 釣堀 ふれあいハウス 売店2店舗 アリスの広場 水遊びの広場） B地区...5,234㎡（子どもプール） C地区...14,141㎡（遊園運動場）</p> <p>【事業の内容】 区の業務...財産管理・公園占用許認可事務・運動場の受付、使用料徴収事務（社会体育課に執行委任） 荒川区地域振興公社（指定管理者）の業務...公共料金の支払・施設の保守及び修繕・使用料徴収事務・施設の維持管理、運営業務</p>				
経過	平成 3年4月 全面リニューアルにより現在のかたちとなる。 平成 5年7月 荒川遊園スポーツハウスオープン 平成 6年1月 荒川遊園地下駐車場オープン 平成15年4月 都電6000形（一球さん号）を常設展示、キャンデイハウス、キッズランドオープン 平成18年4月 指定管理者制度導入 平成19年4月 都電一日乗車券提示による入園料の割引開始、「家族ふれあいの日」協力施設に参加 平成19年12月 スカイサイクル及び観覧車の補強工事 平成20年2月 ふあふあが吹き飛ばされる事故発生 平成20年3月 スカイサイクルのレール及び支柱の腐食防止工事 平成21年2月 園路不陸調整、滑り台2台交換、豆汽車修繕				
必要性	荒川遊園は、区の貴重な観光資源であり、その特色を生かし、安全で安心して楽しく利用できる施設を目指す必要がある。				
実施方法	（2一部委託） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 1 遊園全体の管理運営に係る部分・・・指定管理者（荒川区地域振興公社） 2 遊戯施設等の運営に係る部分・・・設置管理許可（荒川区地域振興公社）				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	
予算額	97,235	107,824	112,371	90,226	86,791	86,017	89,166	
決算額（21年度は見込み）	91,933	102,342	101,419	84,540	85,046	80,357	89,166	
人件費			2,586	3,416	3,758	2,675		
【事務分担量】（%）			30	40	44	33		
合計（+）	91,933	102,342	104,005	87,956	88,804	83,032	89,166	
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）	57,465	67,654	67,558	17,880	17,904	17,904	17,904	
一般財源	34,468	34,688	36,447	70,076	70,900	65,128	71,262	
実績の推移	事項名							
	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	
入園者数（総数[人]）	475,904	422,566	449,965	421,253	412,814	427,186	440,000	
子供プール（人）	11,908	20,330	20,947	17,167	22,063	19,094	20,000	
遊戯施設利用者数（千人）	1,422	1,454	1,555	1,475	1,323	1,263	1,350	
釣堀（人）	38,027	34,513	33,248	31,940	30,726	30,315	31,000	

事務事業分析シート（平成21年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成19年度（決算）		平成20年度（決算）		平成21年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	光熱水費	電気・水道料	51	電気・水道料	59	電気・水道料	88
一般需要費	修繕費	824	修繕費	968	修繕費	6,599	
役務費	遊具点検検査委託	2,058					
委託料	指定管理者管理運営費	79,330	指定管理者管理運営費	79,330	指定管理者管理運営費	82,479	
工事請負費	腐食防止工事	2,782					

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		18年度	19年度	20年度	21年度	目標値 (22年度)	
	入園者数（人）	421,253	412,814	427,186	133,802	500,000	年間入園者総数

（問題点・課題）	<p>指定管理者制度への導入に伴い指定管理者に対する適切な指導が必要である。 大型遊戯施設のリニューアル時期が到来している。 遊戯施設の安全点検に要する連休期間が長期化し、利用者数が減少する結果となっている。</p>
他区の実況	（ 実施 区 未実施 区 ）

問題点・課題の改善策検討	
平成22年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
遊戯施設の安全管理を徹底し、安心して利用できる施設を提供する。	誰でも安心して気軽に楽しめる。
提案内容の実施状況について適切な評価を行い、施設の維持や運営に反映させる。	適切な管理を担保する。
老朽化した大型遊戯施設をリニューアルし、利用客を呼び戻すとともに、安全性の向上を図る。	利用客の増加と、安全性が高まる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
重点的に推進	重点的に推進	荒川遊園は、荒川区が誇れるものとして、さらに維持管理や施設の充実に取り組んでいく必要がある。

議会議決要旨	H16三定 荒川遊園の見直し内容について
--------	----------------------

事務事業分析シート（平成21年度）

No1

事務事業名	公園新設拡充事業	部課名	土木部公園緑地課	課長名	川原宏一
		担当者名	岡田 晃	内線	2754
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（21年度）	公園新設改良費（01-01-01）				
事務事業の種類	新規事業（21年度 20年度）	建設事業	それ以外の継続事業		
開始年度	昭和 平成	年度	根拠		
終期設定	有 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	環境先進都市[]			
	政策	良好で快適な生活環境の形成[08]			
	施策	緑とうるおい豊かな生活環境づくり[08-01]			
目的	みどりの拠点となる公園や、地域における身近なみどりの核となる公園を、地域のバランスに配慮して整備、拡充する。				
対象者等	区民および荒川区を訪れる人				
内容	整備水準の低い地区で優先的に用地を取得し、公園面積の拡充を図る。事業の推進にあたっては、補助事業等さまざまな手法の導入を図っている。				
経過	平成2年3月 「荒川区みどりの基本計画」 平成17年度 瑞光橋公園新設 1.5ha 汐入公園新設（都立公園） 12.6ha 平成18年度 町屋七丁目公園新設 0.1ha 平成19年度 （仮称）宮前公園用地取得 平成20年度 （仮称）宮前公園第二期整備用地測量委託 平成21年度 町屋公園（尾竹橋公園拡張用地）測量委託				
必要性	公園面積（公園＋児童遊園）は、都立公園も含めて41.8haと増加したが、「荒川区花と緑の基本計画」で定めた目標である55.2haを達成するために、地域のバランスも考慮しながら、面積の拡充に取り組む必要がある。				
実施方法	（2一部委託） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） ・公園の設計は直営または委託による ・工事は請負工事による				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	
予算額	16,330	4,470	27,330	389,107	2,188,174	15,019	6,438	
決算額（21年度は見込み）	0	4,097	17,535	328,325	2,188,105	4,879	6,438	
人件費			6,895	6,832	3,416	4,235		
【事務分担量】（％）			80	80	40	50		
合計（＋）	0	4,097	24,430	335,157	2,191,521	9,114	6,438	
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）	0	0	0	389,000	0	0	0	
一般財源	0	4,097	24,430	-53,843	2,191,521	9,114	6,438	
実績の推移	事項名	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度

事務事業分析シート（平成21年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成19年度（決算）		平成20年度（決算）		平成21年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	委託料			用地測量（第二期）	4,879	用地測量（町屋公園）	6,438
	工事請負費						
	公有財産購入費	宮前公園用地取得費	2,188,105				

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		18年度	19年度	20年度	21年度	目標値（22年度）	
	公園・児童遊園面積(ha)	41.6	41.7	41.8	41.8	41.8	目標値算定は、人口180,000人×3㎡ 54.0ha 都立公園含む総面積

（問題点・課題）	公園の総面積は区全体として十分とは言えず、また地域的にも偏在している。
他区の実況	（実施 22 区 未実施 区）

問題点・課題の改善策検討	
平成22年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
密集住宅市街地整備促進事業等を活用して、適地の取得に努める。	少ない費用負担で公園・児童遊園面積を拡充できる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	推進	緑の拠点となる公園の整備は、緑の量的な拡充に直接結びつくものである。

議会議況（要旨）	
----------	--

事務事業分析シート（平成21年度）

No1

事務事業名	公園改良事業	部課名	土木部公園緑地課	課長名	川原宏一
		担当者名	岡田 晃	内線	2754
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（21年度）	改良費（公園新設改良費）（01-01-02）				
事務事業の種類	新規事業（21年度 20年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	10 年度	根拠	都市公園法・荒川区立公園条例及び同条例施行規則	
終期設定	有 無	年度	法令等	荒川区立荒川自然公園条例及び施行規則	
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	環境先進都市[]			
	政策	良好で快適な生活環境の形成[08]			
	施策	緑とうるおい豊かな生活環境づくり[08-01]			
目的	老朽化した公園の、設備等の改修、段差解消等のバリアフリー化その他新規設備の設置等を行ない、公園の安全性や快適性、利便性の向上を図る。				
対象者等	区民及び荒川区を訪れる人				
内容	公園の改良及び改修工事を行う。 【改良工事】 1.福祉の街づくり等に配慮した入口、車止め等の管理施設工事 2.緑陰等に配慮した植栽等の修景施設工事 3.利用年齢層に配慮した広場や遊戯施設工事 4.その他水飲等の便益施設、ベンチ等の休養施設ほか、さまざまな施設工事 【改修工事】 1.老朽化した遊具や公園灯等の施設の改修工事 2.犬猫のフン害対策のための砂場改修工事 3.塗装・植栽工事 4.その他改修工事				
経過	平成17年度 荒川自然公園給水設備改修、日暮里公園外1箇所飲用水栓設置ほか 平成18年度 荒川自然公園徒渉池サイドシート張替、熊野前公園外2箇所時計設置ほか 平成19年度 尾竹橋公園覆土、荒川自然公園給水設備改修、天王公園木製遊具改修ほか 平成20年度 荒川遊園浄化施設改修、荒川自然公園給水設備改修、西尾久四丁目北公園複合遊具改修 西日暮里公園基本計画作成委託、荒川自然公園昇降機基本設計委託ほか 平成21年度 荒川自然公園昇降機新設工事、西日暮里公園基本設計作成委託ほか				
必要性	区民がいつでも安心して利用できるように、安全性、利便性、快適性を確保する必要がある。				
実施方法	（2一部委託） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 施工は委託および請負工事による				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	
予算額	95,584	159,095	58,043	33,782	128,654	167,312	185,575	
決算額（21年度は見込み）	86,711	130,990	39,945	32,497	128,274	165,152	185,575	
人件費			11,205	6,405	13,749	15,246		
【事務分担量】（%）			130	75	161	180		
合計（+）	86,711	130,990	51,150	38,902	142,023	180,398	185,575	
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）					97,000			
一般財源	86,711	130,990	51,150	38,902	45,023	180,398	185,575	
実績の推移	事項名	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
	工事監理委託		1	0	0	0	0	0
	工事件数	32	9	7	6	9	10	12
	調査委託件数		0	1	0	0	0	0
	設計委託						3	1

事務事業分析シート（平成21年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成19年度（決算）		平成20年度（決算）		平成21年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	役務費				建築確認	165	構造検査
委託料	荒川公園南便所設計	2,153		基本計画・基本設計	11,634	基本設計	3,392
工事請負費	公園等改修工事	126,122		公園等改修工事	153,353	公園等改修工事	179,768

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		18年度	19年度	20年度	21年度	目標値 (22年度)	
標	入口段差等解消率（％）	76	76	79	81	85	段差解消済み公園数 / 公園数(37)
	水飲み（車椅子対応型）改修率（％）	64	64	67	70	76	車椅子対応型水飲み設置公園数 / 公園数(37)

（問題点・課題）	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した設備については、計画的な改修により安全性や利便性を確保していかなければならない。 ・改修にあたっては、新バリアフリー法に対応しなければならない。 ・大型遊具は、設置後20年以上と老朽化したものが多く、改修を急がなければならない。 ・19年度、公園・児童遊園で実施した遊具緊急安全点検の結果、安全性の問題から撤去した遊具について新たに設置する必要がある。
他区の実況	（ 実施 22 区 未実施 区 ）

問題点・課題の改善策検討	
平成22年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
公園の計画的な改修工事に取り組む。	公園等の安全性や利便性が着実に向上する。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
継続	継続	公園の安全性や快適性等の向上を図るうえで必要な事業である。

議会議況（要旨）	
----------	--

事務事業分析シート（平成21年度）

No1

事務事業名	児童遊園新設拡充事業	部課名	土木部公園緑地課	課長名	川原宏一
		担当者名	岡田 晃	内線	2754
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（21年度）	新設・拡充費（児童遊園新設改良費）（01-02-01）				
事務事業の種類	新規事業（21年度 20年度）	建設事業	それ以外の継続事業		
開始年度	昭和 平成 14 年度	根拠			
終期設定	有 無 年度	法令等			
実施基準	法令基準内 都基準内 区独自基準	計画区分	計画	非計画	
行政評価事業体系	分野	環境先進都市[]			
	政策	良好で快適な生活環境の形成[08]			
	施策	緑とうるおい豊かな生活環境づくり[08-01]			
目的	「荒川区みどりの基本計画」に基づき、公園を補完して豊かな生活環境をつくる児童遊園や広場等の整備を図る。				
対象者等	主に小学校区を単位とした地域住民				
内容	整備水準の低い地区で優先的に用地を取得し、児童遊園や広場の面積拡充を図る。				
経過	平成14年度 若宮八幡児童遊園新設 584㎡ 汐入せせらぎ広場新設 1589㎡（道路課施工） 平成16年度 南千住六丁目児童遊園新設 471㎡（防災広場から所管換え） 平成19年度 荒川一丁目広場新設 738㎡ 平成20年度 町屋四丁目児童遊園新設 713㎡ 平成21年度 町屋二丁目児童遊園設計委託 平成21年度 町屋二丁目児童遊園新設 998㎡（予定） 平成21年度 荒川四丁目児童遊園設計委託 平成21年度 荒川四丁目児童遊園新設 479㎡（予定）				
必要性	公園面積（公園＋児童遊園）は41.8haと増加したが、まだ少ない状況にあり、「荒川区みどりの基本計画」で定めた目標である55.2haを確保するために、児童遊園の整備・拡充に積極的に取り組まなければならない。				
実施方法	（2一部委託） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） （仮称）町屋二丁目児童遊園外一箇所新設工事設計委託 委託業者 ㈱環境・グリーンエンジニア 委託金額 ￥2,908,500				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	
予算額	0	8,400	0	0	136,216	623,048	69,820	
決算額（21年度は見込み）		6,710	0	0	135,423	608,177	69,820	
人件費			862	0	5,124	5,506		
【事務分担量】（%）			10	0	60	65		
合計（＋）	0	6,710	862	0	140,547	613,683	69,820	
国（特定財源）						292,652		
都（特定財源）						146,326		
その他（特定財源）					15,597			
一般財源	0	6,710	862	0	124,950	174,705	69,820	
実績の推移	事項名	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
	新設工事		1				1	2

事務事業分析シート（平成21年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成19年度（決算）		平成20年度（決算）		平成21年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	委託料				都市計画図書作成	498	設計委託
工事請負費	仮称）荒川一丁目広場新設工事	17,640		町屋四丁目児童遊園新設工事	27,930	町屋二丁目・荒川四丁目新設	62,034
公有財産購入費	仮称）町屋四丁目児童遊園用地取得	117,783		町屋二丁目・荒川四丁目用地取得	579,749		

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		18年度	19年度	20年度	21年度	目標値 (22年度)	
	公園・児童遊園面積（ha）	41.6	41.7	41.8	41.8	41.8	目標値算定は、人口180,000人×3㎡ 54.0ha 都立公園含む総面積
	小学校区域に3園以上（％）				54.2	58.3	小学校通学区域は24

（問題点・課題分析）	公園・児童遊園の総面積は区全体として十分とは言えず、また地域的にも偏在している。
他区の実況	（実施 22 区 未実施 区）

問題点・課題の改善策検討	
平成22年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
密集住宅市街地整備促進事業等を活用して、適地の取得に努める。	少ない費用負担で公園・児童遊園面積を拡充できる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	推進	児童遊園の整備は、子育て支援策としても効果的な事業である。

議会議決（要旨）	
----------	--

事務事業分析シート（平成21年度）

No1

事務事業名	児童遊園改良事業	部課名	土木部公園緑地課	課長名	川原宏一
		担当者名	岡田 晃	内線	2754
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（21年度）	改良費（児童遊園新設改良費）（01-02-02）				
事務事業の種類	新規事業（21年度 20年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	25 年度	根拠	児童福祉法	
終期設定	有 無	年度	法令等	荒川区立児童遊園条例	
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	環境先進都市[]			
	政策	良好で快適な生活環境の形成[08]			
	施策	緑とうるおい豊かな生活環境づくり[08-01]			
目的	老朽化した児童遊園・広場等の設備等の改修、段差解消等のバリアフリー化その他新規設備の設置等を行ない、安全性や快適性、利便性の向上を図る。				
対象者等	主に小学校区を単位とした地域住民				
内容	児童遊園の改修工事を行う。 【改良工事】 1.福祉の街づくり等に配慮した入口、車止め等の管理施設工事 2.緑陰等に配慮した植栽等の修景施設工事 3.利用年齢層に配慮した広場や遊戯施設工事 4.その他水飲等の便益施設、ベンチ等の休養施設ほか、さまざまな施設工事 【改修工事】 1.老朽化した遊具や公園灯等の施設の改修工事 2.犬猫のフン害対策のための砂場改修工事 3.塗装・植栽工事 4.その他改修工事				
経過	平成17年度 小鳩児童遊園スプリング遊具設置工事、汐入せせらぎ広場園路設置工事ほか 平成18年度 八幡児童遊園外1箇所時計設置工事ほか 平成19年度 児童遊園施設物塗装工事ほか 平成20年度 児童遊園施設物塗装工事ほか 平成21年度 西日暮里一丁目広場トイレ新築工事、児童遊園施設物塗装工事ほか				
必要性	区民がいつでも安心して利用できるように、安全性、利便性、快適性を確保する必要がある。				
実施方法	（2一部委託） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 施工は請負工事による				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	
予算額	14,065	11,686	11,686	7,686	14,799	16,280	28,279	
決算額（21年度は見込み）	13,322	7,990	9,912	6,819	13,550	14,688	28,279	
人件費			8,188	1,281	7,003	8,724		
【事務分担量】（%）			95	15	82	103		
合計（+）	13,322	7,990	18,100	8,100	20,553	23,412	28,279	
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）								
一般財源	13,322	7,990	18,100	8,100	20,553	23,412	28,279	
実績の推移	事項名	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
	工事件数	9	5	7	2	4	7	5

事務事業分析シート（平成21年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成19年度（決算）		平成20年度（決算）		平成21年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	工事請負	施設物塗装工事外	13,551	施設物塗装工事外	14,688	施設物塗装工事外	28,279

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		18年度	19年度	20年度	21年度	目標値 (22年度)	
標	入口段差等解消率（%）	74	74	74	74	80	段差解消済み児童遊園数 / 児童遊園数(70)
	水飲み（車椅子対応型）改修率（%）	65	65	65	65	70	車椅子対応型水飲み設置児童遊園数 / 児童遊園数(64)

（問題点・課題）	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーに対応していない児童遊園がある。 ・老朽化した設備については、計画的な改修により安全性や利便性を確保していかなければならない。 ・細街路拡幅整備を実施していない児童遊園がある。（建築基準法42条2項） ・19年度、公園・児童遊園で実施した遊具緊急安全点検の結果、安全性の問題から撤去した遊具について新たに設置する必要がある。
他区の実況	（ 実施 22 区 未実施 区 ）

問題点・課題の改善策検討	
平成22年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
段差解消等の改修工事の計画的な実施に取り組む。	安全性や快適性、利便性が向上する。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
継続	継続	児童遊園の安全性や快適性等の向上を図るうえで必要な事業である。

議会議況（要旨）	
----------	--

事務事業分析シート（平成21年度）

No1

事務事業名	地域に根ざした公園づくり事業	部課名	土木部公園緑地課	課長名	川原宏一
		担当者名	岡田 晃	内線	2754
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（21年度）	地域に根ざした公園づくり（01-03-01）				
事務事業の種類	新規事業（21年度 20年度）	建設事業	それ以外の継続事業		
開始年度	昭和 平成 6年度	根拠	都市公園法・荒川区立公園条例及び同条例施行規則		
終期設定	有 無 年度	法令等	規則 荒川区立児童遊園条例		
実施基準	法令基準内 都基準内 区独自基準	計画区分	計画	非計画	
行政評価事業体系	分野	環境先進都市[]			
	政策	良好で快適な生活環境の形成[08]			
	施策	緑とうるおい豊かな生活環境づくり[08-01]			
目的	地域に根ざした公園づくり事業は、住民参加方式により、区民により親しまれ、利用しやすい魅力的な公園作りを進めるものである。				
対象者等	主に地域住民				
内容	<p>公園および児童遊園を対象として実施している。</p> <p>【事業の流れ】</p> <p>検討会内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地元町会等へ事業説明及び検討会開催の協力要請 2. 近隣住民アンケート調査 3. 公園検討会の開催（意見等の集約） 4. 最終計画案提示 <p>改良工事内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 検討会最終計画案に基づき実施計画・実施設計を行う。 2. 工事を請負工事で発注 				
経過	<p>【公園づくり事業の経過】</p> <p>昭和60～63年度：特色ある公園づくり事業（部分改修、地域でネットワーク化 計 13箇所整備）</p> <p>平成元～5年度：特色ある公園づくり事業（全面改修、テーマ性を付加 計 15箇所整備）</p> <p>平成6～：地域に根ざした公園づくり事業（全面改修、住民参加方式の計画づくり 計 15箇所整備）</p> <p>【設計委託事業の経過】</p> <p>昭和60年度～平成6年度：検討会、鳥瞰図作成、実施設計を含めた設計委託</p> <p>平成7年度～平成9年度：事業の見直しによる検討会、鳥瞰図作成のみの設計委託（実施設計は直営）</p> <p>平成10年度～：事業の見直しによる設計委託業務の休止</p> <p>平成19年度 峡田児童遊園改良工事</p> <p>平成20年度 東日暮里六丁目児童遊園改良工事</p> <p>平成21年度 荒川東公園改良工事</p>				
必要性	住民参加による地域に根ざした公園づくりは、区民に親しまれ、利用しやすい公園とするために重要である。				
実施方法	（2一部委託）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 施工は請負工事による				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	
予算額	23,454	16,928	0	18,093	24,885	10,811	40,908	
決算額（21年度は見込み）	18,795	15,414	0	17,304	24,843	9,975	40,908	
人件費			431	5,978	5,124	4,235		
【事務分担量】（%）			5	70	60	50		
合計（+）	18,795	15,414	431	23,282	29,967	14,210	40,908	
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）	18,000	16,000		18,000	26,000	10,000	40,000	
一般財源	795	-586	431	5,282	3,967	4,210	908	
実績の推移	事項名							
	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	
	整備工事件数	1	1	0	1	1	1	

事務事業分析シート（平成21年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成19年度（決算）		平成20年度（決算）		平成21年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	工事請負費	峡田児童遊園改良工事	24,843	東日暮里六丁目児童遊園	9,975	荒川東公園	40,908

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		18年度	19年度	20年度	21年度	目標値 (22年度)	
標	改修累計（箇所）	29	30	31	32	33	昭和60年度以降の実施箇所数

（問題点・課題分析）	<p>本事業では、毎年1箇所の公園・児童遊園を全面改修しているが、公園・児童遊園の老朽化が進んでいる。公園・児童遊園の総数は103箇所、そのうち25年以上経過しているものが33箇所となっている。</p>
他区の実況	（実施 22 区 未実施 区）

問題点・課題の改善策検討	
平成22年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
事業計画に基づいて改修を行う。	計画的な全面改修が実施できる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	推進	区民の意見を取り入れた利用しやすく魅力ある公園づくりは、重要な事業である。

議会議況（要旨）	
----------	--

事務事業分析シート（平成21年度）

No1

事務事業名	グリーンスポット整備事業	部課名	土木部公園緑地課	課長名	川原宏一
		担当者名	岡田 晃	内線	2754
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（21年度）	グリーンスポット整備事業費（01 - 98 - 98）				
事務事業の種類	新規事業（21年度 20年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	元年度	根拠		
終期設定	有 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	環境先進都市[]			
	政策	良好で快適な生活環境の形成[08]			
	施策	緑とうるおい豊かな生活環境づくり[08-01]			
目的	グリーンスポットは、公園や児童遊園を補完するとともに、身近な居住環境の向上を図るものである。				
対象者等	主に地域住民				
内容	公園、児童遊園よりも小規模な敷地をグリーンスポットとして整備し、街に花と緑があふれ、人々にゆとりを与える空間とする。設置場所については、密集市街地整備促進事業地区に重点を置いている。				
経過	平成元年度より整備を進めている。現在は、財源の確保が図れる密集市街地整備促進事業と連携して推進している。 平成元年度 町屋三丁目グリーンスポット設置 平成4年度 千住間道グリーンスポット新設 平成5年度 一本松グリーンスポット新設 平成11年度 荒川三丁目グリーンスポット新設（開発による提供） 平成12年度 西尾久五丁目グリーンスポット新設 平成13年度 西尾久六丁目グリーンスポット新設 平成16年度 東尾久八丁目グリーンスポット新設（開発による提供） 平成17年度 荒川六丁目西グリーンスポット、町屋四丁目グリーンスポット新設 平成18年度 荒川六丁目グリーンスポット新設 平成20年度 荒川五丁目グリーンスポット新設				
必要性	市街地において、公園・児童遊園の用地取得が難しいなかで、小規模な用地を活用して、身近な居住環境を向上するために、グリーンスポットの整備は重要である。				
実施方法	（2一部委託） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 施工は請負工事による				

予 算 ・ 決 算 額 等 の 推 移	（単位：千円）							
	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	
予算額		149,747	14,964	11,100	0	65,702	0	
決算額（21年度は見込み）		149,045	14,080	8,820	0	65,660	0	
人件費			9,050	6,832	854	3,812		
【事務分担量】（%）			105	80	10	45		
合計（+）	0	149,045	23,130	15,652	854	69,472	0	
国（特定財源）		65,415	5,735	3,882		28,900		
都（特定財源）		32,707	2,867	1,941		14,450		
その他（特定財源）			6,000	5,000		16,000		
一般財源	0	50,923	8,528	4,829	854	10,122	0	
実 績 の 推 移	事項名	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
	新設箇所数		3	2	1	0	1	0

事務事業分析シート（平成21年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成19年度（決算）		平成20年度（決算）		平成21年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	工事請負費			荒川五丁目グリーンスポット	6,394		
	公有財産購入費			荒川五丁目グリーンスポット	59,276		

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		18年度	19年度	20年度	21年度	目標値 (22年度)	
	設置累計（箇所）	9	10	11	11	16	

（問題点・課題分析）	<p>グリーンスポット用地については、関連部署との連携を強化して適地の取得を図る必要がある。</p>
他区の実況	（実施 22 区 未実施 区）

問題点・課題の改善策検討	
平成22年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
密集市街地において、重点的に新設を図る。	街の防災性の向上が図れる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
継続	継続	グリーンスポットは公園や児童遊園を補完するとともに、防災性の向上にも効果がある。

況議（要旨）	<p>議会質問状</p>
--------	--------------